

【JSPCA 譲渡会&小さな命の写真展 開催報告】

去る 2017 年 6 月 17 日（土）、昨年のクリスマス譲渡会に引き続き、今回はヤマザキ動物専門学校レインボーホール（東京都渋谷区）において、「猫の譲渡会&小さな命の写真展」を開催しました。天候に恵まれ 120 名を越す来場者と、当日は 22 頭（成猫 6 頭、仔猫 16 頭）の猫が大集合。会場内で、譲渡に向けたトライアル 5 頭、検討中 2 頭の縁談が決まり、その後トライアル等を経て、現在、譲渡会に参加した猫たち 6 頭が新しい家族のもとで暮らしています。

仔猫が多く参加する中、成猫でもご縁が結ばれた子もいます。今回はご縁がなかったけれど、新しい家族を誰よりも待っているエイズキャリアの猫たちも参加し、ほかの猫と変わりなく生活ができることがわかりました。

「小さな命の写真展 猫 ver.」は、23 枚の写真パネルを展示し、猫たちの置かれている現状を伝えるものです。殺処分される猫たちの約 6 割が、繁殖を繰り返すことによって生まれた仔猫たちです。思わず目をそむけたくなる写真もありますが、これが現状です。

「たくさんの猫が殺処分されている現実に驚いた」「写真を見るととても悲しくなったが、猫の命を守るために必要な活動を知れて良かった」「自分も小さなことからでもやっていきたい」「TNRを広めていき、可哀想な命が少しでも減って欲しい」と来場者の方は感想を述べられました。目を潤ませながら写真を見つめ、立ち止まり、各々が何かを感じ、考えていらっしやる姿が印象的でした。

どうぞ皆さんもお近くで、この写真展を開催していただき、小さな命について一緒に考えてみませんか？

たくさんの動物たちが新しい家族を待っていること、ペットショップではない迎え入れ先の選択肢として譲渡会があること、小さな命が私たち人間の都合や無責任な行動で消えていくことを知ってもらう機会になるように、今後も継続して開催することが大切であると考えています。JSPCA ができることは、ご縁が結ばれる譲渡会会場の提供と写真展にて現状の訴え、周知・集客、正しい飼い方や終生飼養の啓発です。

「今を生きている命は幸せに、不幸な命は生み出さない！」というスローガンのもと、JSPCA 一丸となり邁進してまいります。

これらの事業は指定寄付でご支援いただいている寄付者の皆さま、サンテックオプト株式会社、日本農産工業株式会社、ヤマザキ学園のご協力のもと開催されています。皆さまのご参加と、お力をどうぞお貸してください。

ご理解、ご協力を賜りますよう切にお願い申し上げます。

